

高大連携通信

発行 兵庫県立神戸高等学校総合理学委員会

第1号 平成16年(2004年) 4月8日(木)

今年も、2年生対象に神戸大学の高大連携講義が行われます。

～自然科学・人文科学・社会科学の3分野が同時開催～

今年度は「夏休み集中・全県対象・文系にも拡大」に!

1昨年(2002年度)から始まった、神戸大学との高大連携特別講義は、昨年度までと実施形態が大きく変わります。昨年まで行われていた「高大連携講義」は、連携講義試行として、神戸高校せいだけを対象におこなわれていました。試行2年を経過した経験をもとに、本年度からは全県の高校生を対象にして、夏休みの8月第2週の4日間の集中講義形式で、13講義を行うこと。また、昨年まで行われてきた「自然科学分野」の講義に加えて、「人文科学分野」、「社会科学分野」の文科系の2つの部門についても同時並行して実施されることになりました。

また、その他の大学でも多くの高大連携講義が行われており、高校生が大学で授業を受けることが珍しいことではなくなってきました。後で詳しく説明する神戸大学以外の例を挙げてみても、神戸女子大学、関西学院大学、関西大学など多くの大学で実施されています。高校から遠いなどの距離的な問題など多くの障害がありますが、大学の内容を理解するためにも有効な機会として生かしてみることが大切です。なお、詳しいことについては各大学のホームページなどを検索して見てください。

平成16年度神戸大学高大連携特別講義の実施細目(抜粋)

1. 開設する授業科目及び受入人員

① 公開授業

授業科目名

人文科学通論(文学部、国際文化学部、発達科学部担当)
自然科学通論(理学部、工学部、農学部、海事科学部担当)
(社会科学通論(法学部、経済学部担当))

2. 公開授業の実施時期及び時間帯

8月9日(月)～13日(金)の間で、4日間とする。

各日の時間帯は次のとおりとする。

1時限 10:00～11:30

2時限 13:00～14:30

3時限 15:00～16:30

ただし、最終日は、終了後終了式を実施する。

3. 講義要項の配布

授業の概要をシラバス(所定の用紙)として作成し、希望者に配布する。

4. 所要経費

講義において、テキスト代等必要経費が生じた時は、受講生がそれを負担するものとする。

5. 試験・レポート等の提出

・最終授業時間に試験を実施する場合がある。

・各講義においてレポート等の提出を指示されたら、その指示に従ってください。

昨年度までに実施された、神戸高校・神戸大学の「高大連携特別講義」について

1昨年・昨年度に実施された高大連携特別講義については「高大連携通信」全既刊分がURL(<http://tachiro.hp.infoseek.co.jp/>)にありますのでご覧ください。連携講義について、募集段階から、講義実施まで含めて詳しく記載しています。2002年度の発行分が全33号、2003年度の発行分が全44号(号外除く)あり、全てをインターネット上で見ることができます(全てPDFファイル)。

連携特別講義受講を「履修単位として認定する制度」が昨年度から始まっている!

昨年度から、神戸大学の高大連携特別講義に加えて数回の特別講義(昨年度は神戸大学医学部堀田先生による「ウイルス学入門」)をととも履修した場合、高校での公式の履修単位(現代自然科学通論1単位)として認定する制度がスタートしております。本年度も、神戸大学の「自然科学通論」については同様に扱う予定です(ただし、文化系の分野(「人文科学通論」、「社会科学通論」)についてはこの制度は適用されません。)。なお、連携講義の内容詳細については、神戸大学から詳しい発表がありません。情報入手次第、連携通信に記載する予定です。文責(志)